

## 大半は足に合っていない履物が原因に

### タコとウオノメ



お答え  
たなかクリニック  
田中伸吾 院長

■プロフィール 平成15年川崎医科大学卒業。平成15年川崎医科大学附属病院形成外科医師。平成17年公立三豊総合病院形成外科医師。平成24年福山市市民病院形成外科科長。平成27年川崎医科大学附属病院皮膚科医師。平成29年医療法人広蔵会「たなかクリニック」開院。日本形成外科学会専門医。日本皮膚科学会、日本美容外科学会所属  
(メモ) ☎084(999)0155 たなかクリニック (駅家町上山守450-5) <http://prs-tanaka.com>

「たなかクリニックの田中伸吾院長に、足の裏にできる痛いできものについて聞きました。

Q 足の裏にできるできものについて教えてください。

A 足の裏のできものとして当院に来院される方が多いものは、タコ、ウオノメ、ウイルス性の

イボで、この3つは区別しにくいかと思えます。  
Q タコ、ウオノメとはどのようなものを用いますか。

A 医学用語でタコとウオノメはそれぞれ胼胝(べんち)と鶏眼(けいが)と呼びます。胼胝と鶏眼は、圧迫や摩擦をよく受ける場所に生じる角質が増殖した状態のこと

が、外観で、通常は無症状です。手にできるペンタコ

などが有名ですね。鶏眼は中心に角栓を認め、外観がニワトリの目に似ていることからこう呼ばれるようになったそうです。胼胝より深く限局性で、角質が表面方向

は、角質が表面方向だけに深く深くは合っていない履物によるもので、ヒールの高い靴や、硬い安全靴を履く方に多いようです。また、骨の隆起がある場所にも生じるほか、鶏眼は指の間の趾間(しか)部に生じることもあります。

A 原因の大半は足に合っていない履物によるもので、ヒールの高い靴や、硬い安全靴を履く方に多いようです。また、骨の隆起がある場所にも生じるほか、鶏眼は指の間の趾間(しか)部に生じることもあります。

Q 胼胝と鶏眼以外に

足の裏にできるできものは？

A これらのほかに尋常性疣贅(じんじょうせいうゆうせい)と呼ばれるウイルス性のイボがあります。若し人に特に多い印象です。胼胝や鶏眼と同じように足の裏に硬いできものができ、見た目は中心に角栓があるように見えますが、よく見ると小さい点状の出血斑(かさぶた)が見えたり、削ると出血を起こすことで鑑別ができます。

Q 治療はどのようにしますか？

A 尋常性疣贅の場合はウイルスが原因のため、液体窒素で処置を行うのが基本です。胼胝と鶏眼に関しては厚くなった皮膚をメスで削り取ることがよく行われる治療ですが、サリチル酸絆創膏(はんどこう)を用いて柔らかくする方法もあります。足の裏のできものは、糖尿病など基礎疾患がある方では放置すると悪化する恐れもあるため、注意が必要です。原因の大部分が足に合っていない履物にあるので、足に合った靴を選んだり、足に合うようにインソールを敷きで調整する方法もあります。

当院でも不定期に義肢装具士さんに来ていただき、インソールの作成なども行っています。